オンライン語り部LIVE 2024

語り部LIVEの様子はこちら!

参加費無料

東日本大震災から14年を迎える中、当時を知らない子どもたち、
幼かった子どもたちも小学生・中学生・高校生と成長しています。
日本赤十字社宮城県支部は、JRC加盟校の子どもたちに被災地の想いを
繋ぎ、災害発生時には自分のいのちをしっかりと守ることができるよう
公益社団法人3.11メモリアルネットワークと協働して、

語り部さんの生の声をZOOMで配信します。

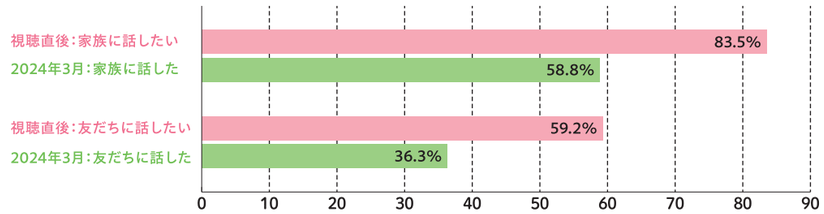
東北大学災害科学国際研究所 佐藤翔輔准教授もJRC語り部LIVEを推薦!

防災教育のコツは「災害を我がこととして考えてもらう」ことにあります。その効果的な方法のひとつが、語り部さんから体験を聴くことで、災害を「追体験」「疑似体験」することです。ぜひ、ご参加いただき災害を乗り越える力を身につけましょう。

※参加する子どもたちへのアンケート調査の設計・分析で日赤と連携しています。

昨年度の調査結果

語り部LIVEを視聴して子どもたちにこんな**行動変容**が! n=1,088



語り部さんのお話を聞いた直後に「誰かに話したい」と思っていた子どもたちの多くが実際に
語り部さんから聞いたお話を家族や友達に伝えています

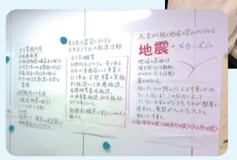
JRC語り部LIVEを取り入れた防災教育例

徳島県 阿南市立橘小学校

お話のポイントを先生が板書し、子どもたちの感想を模造紙にまとめたり、まち歩きで安全・危険な場所をチェック。トンガ噴火に伴う津波警報が出た際には、子どもたちが保護者とともに高台に避難するという行動にも繋がりました。

群馬県 桐生高等学校

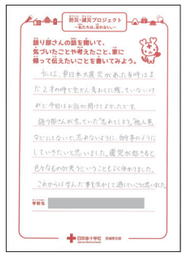
災害支援のための募金活動を行っていますが、語り部さんのお話を伺うことで防災意識が高まりました。地域の防災対策について継続して研究を続け、文化祭での発表や、他校生や小中学生との合同研修会に繋げています。



青少年赤十字 防災教育プログラム「まもるいのち ひろめるぼうさい」もぜひご活用ください!

子どもたちの感想

- 震災があったのは2才のときで全ぜん記おくに残っていないけれどお話が聞けてよかったです。(小学生)
- 「いつか災害が起きる」ではなく、「今災害が起きたら」が大切だなと思いました。(中学生)
- 「自分は大丈夫。」などと油断することが危険だと知りました。(高校生)



先生方のご感想

- 自分たちに語りかけてもらえていると子どもたちは集中して聞いていました。(小学校の先生)
- 東北修学旅行の事後学習として訪れた場所の理解が深まりました。(中学校の先生)
- 日常のホームルームや家庭でもこの話をもとに考えてくれました。(高校の先生)

参加校・参加者数※

※年度により、時間・参加条件が異なるため、参加校・参加者数も異なっています。

令和2年度…全国103校 10,951名
令和3年度…全国58校 4,221名
令和4年度…全国64校 5,784名
令和5年度…全国89校 4,727名

語り部さんのお話を多くの子どもたちに聞いてもらい、子どもたちが学校、家庭、地域で語り手となり、いのちを守ることを期待しています!

津波と原発事故の経験から未来へ

伝えるポイント
- 津波の被害と原子力災害
- 発見までの5年9か月

2月5日（水） 16:15～16:45（16:55） 高校生
2月18日（火） 16:00～17:00 高校生

木村 紀夫 きむら のりお

1965年、福島県大熊町生まれ。東日本大震災の津波で家族3人を亡くし、更に原発事故によって捜索が阻まれる。次女汐凪（ゆうな）の遺骨発見までに5年9か月を要し、いまだその8割は見つかっていない。そんな経験から「防災」と「豊かさへの疑問」について考える伝承を続けている。 大熊未来塾代表

小・中学生にできること、やるべきこと

伝えるポイント
- 災害が起きる前にできる備え
- 自分の命を守るためにできること
- 防災教育を受ける側の視点から見た防災教育の重要性

1月14日（火） 13:30～14:00（14:10） 小学校3・4年生
2月19日（水） 13:30～14:30 中学生

菊池 のどか きくち のどか

釜石東中学校3年生の時に、防災担当の整美委員長となる。3年生の3月11日に東日本大震災が発災し、隣接する小学校の児童とともに避難する。その経験をもとに、2019年 4月より、いのちをつなぐ未来館職員として語り部・ガイドを行う。2021年5月に誰でもわかる・取り組むことができる防災教育の推進を目指し、神戸出身の2人の仲間とともに株式会社 8kurasu を立ちあげ、現在は結乃社中に所属し語り部として活動中。

災害時の“ダメな”お手本

伝えるポイント
- 津波避難の大切さ
- 非常時の判断の難しさ

2月4日（火） 11:00～11:30（11:40） 中学生
2月19日（水） 16:00～17:00 高校生

阿部 任 あべ じん

震災時は高校1年生。石巻市門脇町の実家で祖母と2人の時だった。裏山に避難せず2階にいたところ、家ごと津波に流され9日後に救出された。判断を誤り、多くの人に迷惑をかけてしまった後悔と、メディアでは奇跡の救出として報じられたことによる世間とのギャップに悩んだ経験を語る。

大学生と考える、あの日のこと

伝えるポイント
- 小学生から見た東日本大震災
- ほぼ最年少の語り部
- 未災地に対し思うこと

1月15日（水） 13:30～14:00（14:10） 小学校5・6年生
1月22日（水） 16:15～16:45（16:55） 高校生

岩倉 侑 いわくら あつむ

宮城県石巻市で小学2年生の時に被災する。門脇小学校（※現在は震災遺構）から高台へ逃げて助かるも、自宅と学校を津波で失う。進学を機に宮城を離れ、現在は名古屋大学に通う現役の大学生。未災地での伝承ニーズを感じ、大学1年の秋から東海地方を拠点に語り部として活動する。活動開始後の約50回の講演のうち、半数以上を学校や児童館で行い、子どもから見た東日本大震災を伝えている。

あの日の記憶と心情の変化

伝えるポイント
- あの日の記憶
- 伝承団体を立ち上げた経緯
- 語り部の大切さ

1月28日（火） 11:00～11:30（11:40） 小学校5・6年生
2月19日（水） 11:00～12:00 中学生

若生 遥斗 わこう はると

震災時は小学校2年生。中学校卒業後、伝承団体「きづなFプロジェクト」を仲間と立ち上げ、七ヶ浜町を拠点に県内の小・中学生へ自作の紙芝居の読み聞かせ活動などを実施。震災当時からの気持ちの変化や、伝承活動の大切さを伝えている。

あいりちゃんからの命のメッセージ

伝えるポイント
- 母の悲しみ
- 何気ない日常の大切さ

1月14日（火） 11:00～11:30（11:40） 小学校3・4年生
2月12日（水） 11:00～12:00 小学校3・4年生

佐藤 美香 さとう みか

震災時は自宅で次女（3歳）と過ごしていた。長女（6歳）は高台の私立幼稚園にいたため安心していたが、その管理下で犠牲に。震災後は、「日和幼稚園遺族有志の会」を立ち上げ全国への発信を続けている。紙芝居「あいりちゃんからの命のメッセージ」を用いた伝承活動と共に、2024年に絵本「2人の天使にあったボク」を出版。

今、自分にできること（自分と家族の心と命を守るために）

伝えるポイント
- 震災当時の状況
- 震災後の子どもの気持ち
- これからの目標

1月21日（火） 11:00～11:30（11:40） 中学生
2月10日（月） 13:30～14:30 小学校5・6年生

武山 ひかる たけやま ひかる

震災時は小学校4年生。地震後、家族と車で高台に避難したが、寒さのため自宅に戻ろうとしてしまい危険な状況に。自宅は全壊したため避難所から小学校に通った。震災後、多くの人が辛い思いをしたことを知り「事前に知識があれば」という思いと共に、あの時の子どもの気持ちも伝えている。2021年、震災関連の絵本「ひとりじゃない」を出版し、電子書籍で現在も販売している。

災害から命を守るために知って欲しいこと

伝えるポイント
- 住んでいた地域の被災状況
- 震災直後の息子の避難行動

1月28日（火） 13:30～14:00（14:10） 小学校5・6年生
2月12日（水） 13:30～14:30 小学校3・4年生

髙橋正子 たかはし しょうこ

震災当時、海に近い自宅に高校生の息子と義理の母がいた。大津波警報が防災無線から聞こえるなか、家族とは連絡が取れず、道路は寸断され自宅に戻ることはできなかった。翌日、地区全体が津波に襲われ自宅も含め流出したことを知る。2016年より地区の裏山に逃げた息子の様子がわかる絵本「なべのなった鐘」を用いながら伝承活動を続けている。

3.11 無くしたくない記憶を語る

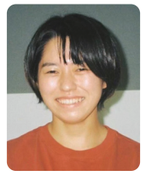
伝えるポイント
- 震災当時のこと
- 震災直後から今まで、どんな気持ちで過ごしたのか
- 震災を経験した私が今伝えたいこと

1月27日（月） 11:00～11:30（11:40） 小学校3・4年生
1月27日（月） 13:30～14:00（14:10） 小学校3・4年生

西城 楓音 さいじょう かざね

宮城県石巻市出身・在住。震災当日は小学校2年生。学校から帰宅し自宅にいる時に被災。自宅の1階は津波で被災したが、避難していた2階までは到達しなかったため自身は難を逃れる。津波は直接見ておらず、避難所生活も経験はしていないが、津波・火災で当時幼稚園に通っていた6才の妹を亡くす。2021年夏から語り部として震災の伝承活動を始める。

自己と町の関係性を結び直す



伝えるポイント
- 子どもの被災（中学一年生）
- 原子力災害
- アートと地域

1月15日（水） 11:00～11:30（11:40） 小学校5・6年生
1月22日（水） 13:30～14:00（14:10） 中学生

秋元 菜々美 あきもと ななみ

福島県富岡町出身。中学1年生の時に被災。自宅のあった場所は2023年に避難指示解除されて住める場所に。当たり前に暮らしていた家に帰れなくなった3月12日。昨日まで遊んでいた友達/学校/町と離れ離れになった事が「当たり前」を見つめ直す契機になり、原発被災地からこれからどんな社会を目指していけるか問いを発信し続けている。

わかっていたのに、あの時できなかったこと

伝えるポイント
- 震災前の被災体験と防災意識
- 地震直後の心理状況
- 家族との約束

2月5日（水） 13:30～14:00（14:10） 中学生
2月10日（月） 11:00～12:00 小学校5・6年生

草島 真人 くさじま まさと

津波により自宅も含め住んでいた地区全体が流出。地震の時は、仕事の移動で内陸部を車で走っている時だった。震災前から地域の避難訓練には参加し、ハザードマップも確認していたが、2度も海に近い自宅に戻ったため津波に襲われ、ギリギリで避難をした経験を持つ。なぜ、あの時、自宅に戻ったのか自分の行動を分析し、伝え続けている。

社会人になる前に、知っておきたいこと！

伝えるポイント
- 息子のいのちからの学び（企業・組織防災）
- いのちが一番、人生の歩み方

1月21日（火） 16:15～16:45（16:55） 高校生
2月4日（火） 16:15～16:45（16:55） 高校生

田村 孝行 たむら たかゆき

東日本大震災の津波により、銀行という企業管理下で当時25歳の息子を亡くした。いのちの大切さや、安全な社会に向けてどうあるべきか、息子・健太より多くの事を学んだ。この学びを次世代へ繋げるために、いのちを守る防災講演（企業・組織防災）・いのちの学習の講演をし、命のバトンを渡す活動を続けている。

Q&A

Q いろいろな語り部さんのお話が聞きたいです。複数の日程で視聴してもよいですか。
A 視聴可能です。

Q 対象の日程に参加できません。
A 例えば、都合に合わせて小学校であっても対象をまたいで中学校の日程に参加いただくことも可能です。対象別に言葉遣いを変えていますので、その点はご了承ください。

Q 録画視聴はできますか。
A 語り部さんの意向により、録画配信は行っていません。（第三者にお話の一部分が切り取られて引用されるのを防ぐため）生配信での参加のみ受付となりますので、予めご了承ください。

Q ZOOMのアプリがないと視聴できませんか。
A ブラウザからも視聴いただけますが、接続が不安定になる場合にはアプリでの視聴をおすすめします。

Q 当日接続がうまくできるか不安です。
A 参加校にメールでお送りするURLに正しくアクセスいただくと、○月▲日□:□～開催予定ですという表示が画面上に出てきます。また、当日の配信30分前から入室可能としていますので、早めの接続確認が安心です。

Q 参加中、自校だけ音声が聞こえません…
A インターネット通信の安定している環境での視聴、ZOOM上の音声に関する設定をご確認ください。開始前にアナウンスを行いますので、その声が届いているかご確認ください。

Q 当日注意することはありますか。
A 子どもたちの様子が語り部さんに見えるように配信中はカメラをオンにしてください。また、雑音が入らないようマイクはミュートにしてください。

公益社団法人 3.11メモリアルネットワーク 命をつなぐ 未来を拓く

選べる3つのプログラム

※「30分」と「40分」プログラムは冒頭から30分間は同じ配信です。

「30分」の参加校は、開始から30分後に退出、「40分」の参加校は、残り10分間で語り部さんへ質問や感想発表を行います。

30分 授業で取り入れやすいコンパクトな内容

接続チェック → はじまりの挨拶 → 石巻市内の被害概要と語り部さんの紹介 → 語り部さんのお話（20分） → まとめ → おわりの挨拶

40分 語り部さんと交流しよう！

接続チェック → はじまりの挨拶 → 石巻市内の被害概要と語り部さんの紹介 → 語り部さんのお話（20分） → まとめ → 語り部さんへ質問や感想発表（10分） → おわりの挨拶

60分 みんなで一緒に気づき・考えを深め合おう！

接続チェック → はじまりの挨拶 → 石巻市内の被害概要と語り部さんの紹介 → 語り部さんのお話（20分） → 校内共有（20分） → 語り部さんへの質問・話し合ったことの発表など（9分） → 事務局からフィードバック → おわりの挨拶

※各校内での話し合いのテーマ（20分）
「語り部さんのお話を聞いて、気づいたこと・初めて分かったこと・もっと知りたいと思ったこと」

多くの学校にご参加いただけるよう、回線減のご相談をさせていただく場合がございます。
・30分、40分：各回につき先着50回線まで ・60分：各回につき先着5校まで
※目安：1クラスにつき1台のパソコン=1回線

開催日程

対象が異なる校種の配信回にも、もちろん参加いただけます。ご都合の良い日程にご参加ください！

小学校3・4年生

	時間	1月14日（火）	1月27日（月）
30分プログラム	11:00～11:30	佐藤 美香さん	西城 楓音さん
	13:30～14:00	菊池 のどかさん	西城 楓音さん
40分プログラム	11:00～11:40	佐藤 美香さん	西城 楓音さん
	13:30～14:10	菊池 のどかさん	西城 楓音さん
60分プログラム	11:00～12:00	佐藤 美香さん	
	13:30～14:30	髙橋 正子さん	

小学校5・6年生

	時間	1月15日（水）	1月28日（火）
30分プログラム	11:00～11:30	秋元 菜々美さん	若生 遥斗さん
	13:30～14:00	岩倉 侑さん	髙橋 正子さん
40分プログラム	11:00～11:40	秋元 菜々美さん	若生 遥斗さん
	13:30～14:10	岩倉 侑さん	髙橋 正子さん
60分プログラム	11:00～12:00	草島 真人さん	
	13:30～14:30	武山 ひかるさん	

中学生

	1月21日（火）	1月22日（水）	2月4日（火）	2月5日（水）
30分プログラム 時間	11:00～11:30	13:30～14:00	11:00～11:30	13:30～14:00
	武山 ひかるさん	秋元 菜々美さん	阿部 任さん	草島 真人さん
40分プログラム 時間	11:00～11:40	13:30～14:10	11:00～11:40	13:30～14:10
	武山 ひかるさん	秋元 菜々美さん	阿部 任さん	草島 真人さん

	時間	2月18日（火）	2月19日（水）
60分プログラム	11:00～12:00	若生 遥斗さん	―
	13:30～14:30	―	菊池 のどかさん

高校生

	1月21日（火）	1月22日（水）	2月4日（火）	2月5日（水）
30分プログラム 時間	16:15～16:45	16:15～16:45	16:15～16:45	16:15～16:45
	田村 孝行さん	岩倉 侑さん	田村 孝行さん	木村 紀夫さん
40分プログラム 時間	16:15～16:55	16:15～16:55	16:15～16:55	16:15～16:55
	田村 孝行さん	岩倉 侑さん	田村 孝行さん	木村 紀夫さん

	時間	2月18日（火）	2月19日（水）
60分プログラム	16:00～17:00	木村 紀夫さん	阿部 任さん

申し込み方法
お申込みはMicrosoft Formsから受け付けます。（入力ができない場合にはお問い合わせください。）
https://forms.office.com/r/hUsXLzXcKP

お問い合わせ先
日本赤十字社 Japanese Red Cross Society 宮城県支部
住所：〒981-3117 仙台市泉区市名坂字石止44番7
TEL：022-725-7530 FAX：022-725-5150
MAIL：houshi@miyagi.jrc.or.jp
HPはこちら